

令和2年度 公益社団法人 静岡県作業療法士会 第2回理事会議事録

1. 開催日時 令和2年8月1日 午後1時00分～5時40分
2. 開催場所 コロナウイルス感染対策のため ZOOMにて開催。一部事務局にてリモート形式で参集。
3. 出席者（順不同）

| | | | | | | |
|-------|-----------|--------|-------|-------|-------|------|
| 理事総数 | 15名 | | | | | |
| 出席理事 | 15名 | | | | | |
| 代表理事 | 岡庭 隆門（議長） | | | | | |
| 理事 | 三井 忍 | 村岡 健史 | 大庭 俊裕 | 秋山 尚也 | 林 正春 | 建木 健 |
| | 岡本 博行 | 川口 恭子 | 伊井 玄 | 稲葉 洋介 | 生田 純一 | |
| | 齊藤 洋平 | 藤田 さより | 大石 裕也 | | | |
| 監事 | 遠藤 浩之 | 秋山 恭延 | | | | |
| 部長・班長 | 増田 昌行 | 草谷 佳世 | 酒井 一道 | | | |
| 事務局 | 高岡 留美 | 大塚 昭宏 | 市川 志帆 | 武内 元 | | |

4. 決議事項

- 第1号議案 県士会共通書式使用について
- 第2号議案 規約検討委員会より検討・提案事項
- 第3号議案 研修会・事業実施に向けての検討事項
- 第4号議案 各種委員推薦について
- 第5号議案 47委員会参加について
- 第6号議案 その他（各部局からの決議事項）

5. 報告事項

- 報告第1号 学会進捗状況
- 報告第2号 3団体連絡協議会報告
- 報告第3号 各部・WG報告（職務執行状況・修正対応の報告）

6. 開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

7. 議事の経過要領及びその結果（決議事項）

- 第1号議案 県士会共通書式使用について ⇒ 承認（④企画書以外は下半期から運用）
情報の管理や共有及び運用を効率的に行うため、文書を共通のもので使用したい。
 - ①事業計画書：各部局の事業毎作成（予算案と併せて作成していく流れ）
 - ②事業報告書：補正予算併せて事業報告書を作成（議案集に書かれている簡潔な内容）
 - ③会議録：学術部のものを引用し作成。
 - ④企画書：事業計画書より詳細なものとして作成（理事会での報告や審議に活用）
事業が具体的になった段階で作成し理事会で共有する流れ。

【意見】

- ・事業計画書と企画書は同じタイミングで提出か ⇒ タイミングについてはやりながら検討。
- ・事業によっては期限が迫ってからの変更もある。理事会での承認が必要か。
⇒やることが見える化できていれば良い。情報共有や意見集約する目的で報告する

第2号議案 規約検討委員会より検討・提案事項

- ・平成29年度の立ち入り検査でのフィードバック内容の説明。
- ・大部分の改善は出来ており、残りの課題解決に向けて進めていく。
- ・監査では、内部統制が出来ているか、会計が明瞭であるかの確認がある。
- ・次回提出書類に完成一覧表を提示
- ・事業に関する規程が揃っておらず、会全体・各部局（分掌業務等）共に整備する。
- ・各部局の規程を整備してほしい（次回理事会で承認）
- ・規程とマニュアル（規程：外部に分かる位置づけや方法を整理した文書、マニュアル：内部にて共有する運用上のもの）

【各種規程についての審議】

理事会規則、役員選出規程、情報公開規程、会員の処分の種類に関する規程、慶弔規程 ⇒ 承認
会計規程：会計責任者、会計担当者の氏名を記載する事

第3号議案 研修会・事業実施に向けての検討事項

事務局にてデモを実施。Wi-Fiが弱いことが発覚。拠点にするには、インターネット環境が必要。
追加購入品（教育部支出）を検討 ⇒ 承認

第4号議案 各種委員推薦について

1) 伊豆市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員の推薦について
林理事推薦 ⇒ 理事ミーリングにて承認得ている

2) 浜松市介護認定審査会委員推薦

現職：秋山監事、小笠原紀子、建木理事、小坂幸子 ⇒ 要検討

第5号議案 47委員会参加について

今年度は全てwebにて開催（1日開催）。2拠点の参加が可能。

⇒ 2拠点で申請。会長と事務局で可能な範囲で参集

第6号議案 その他（各部局からの決議事項）

1) 財務部

①会計マニュアル改定：会計担当者会議にて質問のあった内容、監査での内容、銀行口座開設、
相見積もりや1万円以上の備品の写真管理などを追加・修正した。 ⇒ 承認

②監事による会計監査

参集しての会計監査が困難な状況。方法変更をご理解いただきたい ⇒ 現状に合わせて実行

2) 学術部

学会への学術部（演題管理）参画について、33回学会への関りを通して清水部長の私見を報告。
学会（役員や窓口）と学術部との情報共有やマニュアル作成などが今後の課題。

33回と34回と学術部との3者間の共有が出来るような体制の整備。

3) 教育部

新人オリエンテーション：9月27日（日）（開催方法：ZOOMを使用したWEB研修）

講師と教育部員（他必要な関連部局）は事務局にて運営。

参加費納入方法、事前説明期日・内容、当日の連絡先について報告。

理事の紹介：ブレイクルーム機能を使い各地区に分かれて行う。

参加対象者：例年より入会者が少ないこともあり今後会員になってもらえる方も参加対象。

⇒ 承認

4) 広報部

①動画コンテンツを用いた広報活動

Youtubeの県士会公式アカウントを作成したい。（予算立てしてある50万円の中で）

機材は、教育部のものも使用したり必要なものを購入したりして整備する。 ⇒ 承認

②ノベルティ作製

上記予算の一部をノベルティ作製費用として使用しても良いか。 ⇒ 承認

③サーバーレンタル

現在2サーバーレンタル中。サーバー内にいくつもHPを設置できる。学会のHPの設置場所として利用できないか。まずは2サーバーに34回学会HPから設置していく。アクセス解析がサーバーに設定されているため、HPそのものに設定できれば、行く行くは1つで運用したい。

⇒ 承認

5) 事業部

コロナの影響で今年度の次世代育成事業及び一般市民作業療法見学事業を中止したい。 ⇒ 承認

今後の代替案も部員施設の事情等で苦慮している。

6) 災害対策委員会

OT協会の災害シミュレーション訓練（9/25）に参加申請したい ⇒ 承認

7) 34回学会

①趣意書：テーマ「架け橋～作業療法士の創る繋がり～」について思いを報告 ⇒ 承認

②予算書：コロナウイルス感染対策のための費用を例年より多く見積もっている。

非会員の参加費：県士会費（8,000円）と参加費（5,000円）の合算したもの。

⇒ 非会員の参加費について監査で指導があったため再検討（それ以外承認）。

③33 回学会の一般演題の受け入れについて

33 回学会の一般演題に登録された方で、34 回学会で発表を希望する方を募集。33 回学会査読を通していため割愛（負担軽減）。案内方法は広報誌チラシに同封及び県士会 HP 掲載予定
⇒ 指揮命令系統を含めて齟齬がないよう緻密に行うこと。學術部の担当者も交えて進める。

8. 報告事項

報告第 1 号 学会進捗状況

5 役会議、33 回学会からの引継ぎ会議、第 1 回実行委員会を開催

報告第 2 号 3 団体連絡協議会報告

7 月 4 日 3 団体協議会会議を開催（議題：役員の変更、各団体の事業報告）

- 1) 訪問リハ：振興財団の動きが中心、各地区の研修会、他職種のシンポジウムを企画（未確定）
- 2) 災害対策：例年 2 回の研修を検討
- 3) 地域包括ケア推進委員会：対面研修の開催を優先したいと検討中。
- 4) 県から 3 団体協議会へ協力要請
 - ・コロナ対策で県から予算がついた（i-pad を活用した事業）
 - ・アプリでの在宅リハ

報告第 3 号 各部・WG 報告（職務執行状況・修正対応の報告）

1) ワーキング

①ライフワーク

進捗はないが、アンケートの結果をもって進めていく。コロナの中で ICT が活用されつつあるため上手に使っていききたい。

②中長期ビジョン

アンケートの集計は済んでいるが解析が進んでいない。部員の給与や子育て世代への支援など進んでいる部分はある。

2) 財務部

会計担当者会議開催、会計突合作業、財務部会議等 web を中心に計画的に開催

3) 學術部

精神科 WG の活動報告、規程作成中

4) 教育部

- ①MTDLP 拡大会議：各士会の進行状況の確認（実践者研修修了者が静岡県は少ない 3.5%）
精神科での MTDLP の活用を推進したい。

MTDLP のシートの使いにくさが指摘されている。

⇒ 改善ポイントとして同時進行としていつ誰（他職種、家族等）に依頼したかということが明記されていることが重要。その広報の仕方についても検討。

②臨床実習指導者会議

2 日半のスケジュールで開催（web）講師と世話人（条件付き）を 7 名程度で検討
参加者の優先時条件を設けて 42 名を募集。協議会で講師料を検討中。

5) 広報部

- ①会報誌：発刊スケジュールが決まったため、同封文書あれば資料の記載日までに依頼
- ②広報誌：送付先リスト提示
- ③HP にコロナ情報を随時更新
- ④プッシュ 7（更新情報の通知システム）導入。
- ⑤HP のアクセス状況を掲載（HP 訪問数 350~450 件、会員の訪問が殆ど）。
- ⑥web 会議開催。

6) 渉外部

各種協議会、委員会、会議等出席。今後内部の会議など web 等で出席したい。

7) 福利部

OT リーダー研修会：なるべく顔の見える研修会の形態を検討したい。

8) 地域事業部：特になし。

9) 各地区

- ①西部地区：メール 3 件配信。新人への申し込みを発信
- ②東部地区：メール 2 件配信
- ③中部地区：県広域推進センター静岡市の医師会に入ってくる。地域の診療所と回復期のリハ病院の連携を取り組みとして進めていくという情報がある。

10) 調査部

- ・調査部会議（2020年度の予算及び事業実施予定、役割分担、生活行為工夫情報モデル情報進捗報告、会計業務）開催。
- ・生活行為工夫情報モデル事業：登録士会 35 士会登録、ブロック化し会議等進める。

11) 地域包括ケアシステム推進委員会

- ・8月8日人材育成研修会（web）に4名出席。伊豆の国地で行っている地域個別ケア会議での書面会議運用の報告をする予定。
- ・活動計画（地域支援事業実態調査、会員への啓発）の報告
- ・OT協会より、補装具の支給制度の見直しに対する意見収集の依頼があり林理事にて対応。スプリント作成等にOTの助言が支給対象となる様意見を挙げた。

12) 災害対策委員会

- ①静岡災害リハ研修会：12月12日（土）ZOOMをYoutube LINEで放送する方法も検討中
- ②災害シミュレーション訓練：今回は台風被害を想定した訓練、災害対策本部（組織図案）を立ち上げ組織的に実施できるよう検討。今後もブラッシュアップして進めていく。

13) 表彰委員会

- ・2020年静岡県作業療法士会表彰：8月上旬に記念品を送付予定。
- ・静岡県男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞：佐々木直美氏を推薦
上記表彰について139号会報誌に掲載

14) 訪問リハ連絡委員会

3士会合同での研修会（令和2年10月以降）・シンポジウム（令和3年1・2・3月）を検討中

15) 事務局

入会者、納入率について報告。例年に比べて入会者や納入率は低い状況。

16) 規約検討委員会

- ・7月2回会議開催。
- ・今後のスケジュールを報告（10月の理事会で最終確認、12月の監査に向けて準備する）。

報告第4号 その他

- 1) web会議のZOOMを活用したブレイクアウトルームの試行。

9. 第4回理事会（候補日）：10月10日

令和2年度理事会開催予定日および開催日

| | 開催日・候補日 | | 備考 | 主な行事 |
|-------|---------|-------------|-------------|-----------------|
| 第1回 | 4月 | 19日（日） | 新人リエンテーション時 | |
| 第2回 | 6月 | 21日 | （拡大理事会） | 6/21 総会 |
| 第3回 | 8月 | 1日 | 納涼会は延期 | 9月19日（WEB47委員会） |
| 第4回 | 10月 | 10日 | | （OTリーダー研修会） |
| 第5回 | 12月 | 12日 5日 19日 | 拡大理事会、忘年会 | |
| 第6回 | 2月 | 27日 | | 6日・7日（47委員会） |
| 臨時理事会 | 3月 | 14日、20日、21日 | 年度末の会計 | |

議事録作成者 武内 元